

## 絵馬富士見西行図

絵馬は、神社に祈願をたてるときに馬を奉納する風習があったものを、板に馬の絵を描いてその代わりにしたことに始まる。

しかし近世になると、馬以外の題材も使うようになり、また民間信仰と結びついて各種の絵馬が生まれた。

慶徳町新町にある古四王神社の絵馬は、正徳元年（一七一）奉納されたもので、この地方では古くて代表的なものである。絵馬の大きさは、縦二五・五センチ、横三八センチで、描かれている富士の形は、底辺が二七・五センチ、左辺二一センチ、右辺が二〇センチの大きさである。板材は杉が使われている。

絵馬に

正徳元年卯年六月十三日

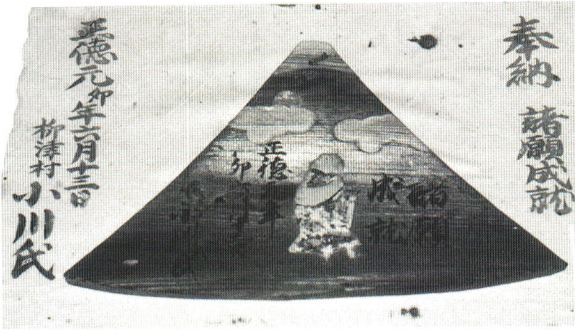
柳津村小川

と記されている。

所在地 慶徳町松舞家字馬坂

古四王神社

指定年月日 昭和五十七年四月九日



## 青山城跡

上三宮町上三宮の西に位置し、佐原十郎義連の孫、加納五郎左衛門盛時が築城したものと伝えられ、時代的には新宮城の築城と同じ一三世期の初め（鎌倉時代初）頃と考えられている。

昔は、東城と西城の二つの城郭から成っていたというが、東城のあったところは今は民家が建ち、現存しているのは西城であって、東西三六間（約六五メートル）、南北四〇間（約七二メートル）の大きさである。城の中段あたりには、空堀の跡がみられ、城の南外郭にあたる場所に加納五郎左衛門盛時をまつたという五郎神社がある。

所在地 喜多方市上三宮町上三宮

指定年月日 昭和四十八年二月八日

